

隠れた奈良の魅力再発見
とっておきの
奈良

Vol. 5

天川村洞川地区

洞川温泉ほのぼの
まちづくり協議会
洞川温泉観光協会



第20回天川村名水まつり
は4/29(祝)
10:00~夕刻まで
所吉野郡天川村洞川一帯
(主会場：洞川エコミ
ュージウムセンター)
問天川村総合案内所「天
川村名水まつり実行委
員会」
TEL 0747-63-0999
アクセス/近鉄下市口駅
からバス洞川温泉行き約
80分、終点下車
駐車場有(一部有料)

「奈良・もてなしの心推進県民会議」では、
生き生きとした生活や交流を育むまちづく
りを実践している地区を、「もてなしのま
ちづくりモデル地区」として認定。
天川村洞川地区もその一つです。



洞川湧水群は環境省が名水百選
に選定。暮らしの傍らに名水が
あり、それが旅情を誘う。

「洞川の神秘的なイメージを大切に、将来は大分県の湯布院や熊本
県の黒川に匹敵する集客力を」と展望を描く洞川温泉ほのぼのまち
づくり協議会のメンバーら。(右から2人目が会長の紀埜さん)



「修験の文化」を支えて
新温泉湧く名水の里

新温泉湧く名水の里

世界遺産に登録された「紀
伊山地の霊場と参詣道」。そ
の一部である大峯奥駈道では、
古くから修験者が苦行を重ね
てきました。そんな行者たち
を癒した出湯の里・天川村洞
川地区には「行者仕込みのも
てなし」が息づいている、と
「洞川温泉ほのぼのまちづく
り協議会」会長の紀埜弘道さ
んは話します。「宿では夜中
に到着する行者さんの一行を
迎えたり『ご来光を拝みたい
ので朝3時に起こしてほし
い』という求めにも応じてき
ました。宿泊客のあらゆる望
みを受け止める懐の深さが、
培われてきた地区の伝統で
す」。

そんな行者の宿泊も、今で
は減少傾向に。逆に温泉街に
浸透しているこまやかな心
配りは、一般宿泊客の心をと
らえ、宿泊者数も増えてきて
いた矢先、洞川温泉の湧出
量が陰りが見え始めました。
危機を乗り切ろうと、地元
の旅館なども資金を出し合い、
源泉を掘削。湧出量、成分濃
度とも従来のは5倍近いとい
う新たな温泉を掘り当て、近
く良質の湯が行き渡ります。紀
埜会長は「霊場の神秘と豊か
な自然に抱かれた洞川の良
さを、全国に広めたい」と意
気込みます。

温泉街ではここ数年、玄関
先に手水鉢を置く旅館や店が
増えています。家ごとにこだ
わりの意匠で一軒、また一軒
…。大峯山脈を源とする清ら
かな水を守ってきた住民が、
その誇りを静かに発信し始
めました。



名水まつりでは釣り大会や自然観
察イベントなどで大自然の魅力を
満喫できる。